

# 真鶴からの手紙

真鶴中学校だより 第二二七号

2021.6.18  
責任者  
市川 麻美

## 梅雨入り・・・ そして定期テスト

生徒の皆さんは、運動会が終わるとすぐに、六月二十三日からの第一回定期テストに向けてシフトエンジンを始めていました。間に迫った今、授業に粛々と取り組んでいます。



廊下やトイレまできれいで「ある」なめのお褒めの言葉

先日(六月十一日)、今年度第一回学校評議員会を持ちました。評議員の皆様から、「生徒が大変静かに落ち着いて授業に真剣に取り組んでいる」「清掃が行き届

をいただきました。ありがたいことです。

今年の梅雨は、例年より早く始まりそうでしたが、平年より少し遅れての梅雨入りとなりました。この時期、特に廊下が湿って滑りやすくなりがちです。走ったり慌てて通ったりすることのないように、日々落ち着いて生活していきましょう。

さて、何気ない生活の中で、とてもうれしいことがあります。清掃中、三年生が廊下を拭き掃除していました。私がお願いしようとしていたところを、すでに拭いてくれたので、「そこ、ちょっとお願いしようと思っていました。ありがとうございますと声をかけたら、「いいえ、どういたしまして!」と明るく答えてくれました。「ありがとう」「どういたしまして」のたった一言が、お互いの気持ちを暖かくしてくれるもので

す。自然に出そうで出ない言葉かもしれません。とても嬉しかったです。つい、マस्कの下でにこにこしている自分がありました。

## 一年校外学習 「真鶴を知ろう」

六月一日(火)晴天に恵まれ、一年生が校外学習に出かけました。総合的な学習の時間のテーマ「Discover 真鶴! 真鶴を知ろう」ということで、「半島自然コース」「歴史コース」「道祖神コース」「美の町コース」の4コースに分かれて学習しました。



観光協会ボランティアガイドの方々の話を頂きながら、しっかりとメモをとりました。現在、班ごとにまとめポスターを製作中です。完成が楽しみです。



一年

真鶴は、とても海が透き通っていたし、自然が豊かだった。真鶴の自然や良さがよく分かった。真鶴はきれいで美しい町だと分かった。カメラにおさめきれないほどの発見があった。

一年

真鶴は、ただの田舎ではなく、歴史上でもすばらしい功績を残した町だった。例えば、源頼朝を逃がすために色々な人がそれぞれの役割を果たし、今でも残る名をもらったり、時には悲しいことが起きたり、全国に良い石を運んだりなど新たな発見があった。

## 心に種を蒔く…



今年度、権作文集の新しい冊子が届きました。引き続き生徒会役員が毎月十日に放送室から朗読を行います。みんなの心に種を蒔き、「思いやり」という名の水と「愛」という名の栄養をたっぷり注ぎ、「笑顔」という名の陽を浴びて、芽が出て花が咲いて大きな幸せの実となるように…。

## 運動会を終えて

三年

三年生の最後の運動会は、みんなが協力して、楽しんでできて良かったと思います。今回は、新しい形の運動会だったけど、思った以上にできたと思います。

全員リレーでは、走るのが苦手な人もみんな心一つにまとめて、一生懸命に走りました。

僕がいた青ブロックも練習どおりに二位を取りました。ロープジャンプは、四位だったけれど、練習の時よりもはるかに成長して六十七回も跳べました。

運動会だから、必ず勝ち負けがあるけれど、運動会ができたからこそ、楽しく、みんなの絆を深められ、最高の思い出になりました。

三年

私は今年の運動会は、学校全体の絆がさらに深まった行事になったなと思います。去年は運動会ができなくて正直今年もできるか不安でした。今年から新しい形の運動会になってそういう部分でも不安な所は多かったです。

だけど、三年生として種目責任者に挑戦するなど、自分の成長につながった運動会でもあったなと思います。こういう行事があつたらいいなと思うけど、一つ一つの行事を大切に全力で頑張ろうと思います。中学校最後の運動会で、すてきな思い出を作れて良かったです。

二年

私が運動会で頑張ったことは、救命ボートと放送でのアナウンスです。救命ボートでは、向こ

うの人が引っぱっていたタイヤをこちら側に戻すのをやって終わった後、やりきった達成感を味わいました。みんなでたくさん声をかけあって一つになれたと思うし、そのおかげで一位をとることができてとてもうれしかったです。

放送でのアナウンスでは、本番で間違えないように家などでたくさん練習しました。次は自分たちが運動会をつくっていく番なので、今年の三年生のようこれまでに以上の運動会がくれたらいいなと思います。

二年

運動会当日は、今年の運動会で三年生がこの日のためにどれだけ頑張ったかがすごく伝わった一日だった。

今年初めてのブロック集会を開いたときの私たち一、二年生は何も意見を言えず、三年生達だけで話をしていてと思うけれど、何回かブロック集会をやつていくにつれ、三年生が頑張っている姿を見て「私達もちゃんと協力しなきゃな」と思った。その三年生の姿を見て私は、真鶴中学校の三年生はすごいカッコよく、協力的だなと思いたい。私もこんな三年生になりたいと思った。

## 幼小中連携のまど Vol.2 「運動会」 運動会担当

新しい生活様式のもとでの真鶴中の「新しい」運動会は、クラスの枠を外し、全校を赤・青・緑・橙の4色に分けた対抗戦としました。生徒たちと共に考え、創り上げてきた運動会。本当なら、幼稚園児や地域の方とのふれあいの場にしたいという思いもありましたが、今年度は感染症予防のため、断念しました。

また、様々な理由で延期となり、運動会に向けてのモチベーションが上がらないのではないかと心配しましたが、生徒たちの勝ち負けを超えた「楽しさ」を目指す姿に頼もしさを感じました。

幼稚園児とともに中学生がグラウンドを走る日は、またいつかきっと、やってきます。その日のために、幼稚園、小学校や地域とのつながりを大切にすることを、学校行事を通じて育てていけたらと思っています。

